

☆ もしもに備えて 避難所運営ゲーム《HUG》 葉栗連区町会長会 ☆

7月28日（金）、葉栗公民館大会議室において、各町会長および地域づくり協議会役員を中心に避難所運営ゲーム「HUG」を行いました。

大規模災害の応急対策活動の中でも特に重要なものの一つが「避難所運営」です。

避難所運営のポイントとして、小・中学校施設のうち避難所として利用できる主な施設は、屋内運動場と武道館のみです。その限られた施設の利用の中から、「災害要支援者等への対応」、「トイレの取り扱い」、「車での避難者の扱い」、「ペットの取り扱い」、「盲導犬の扱い」などの説明を受け、避難所運営ゲームを始めました。

避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカード（避難者カード）が次々と読み上げられ、屋内運動場に見立てた平面図に適切に配置できるか、また、避難所で起きる様々な出来事（救援物資の配布、仮設トイレの設置場所など）にどう対応していくかを考える訓練です。

参加者は、次々と読みあげられる避難者カードの内容に対応すべく意見を出し合い、真剣に取り組みました。

特に飲料水の確保や仮設トイレの配置、避難所での生活空間の確保、視察や取材対応、幼児や高齢者、外国人の取り扱い方など、様々な場面を想定した活発な意見が出され有意義な研修でした。

今後、いつ起きるかわからない災害に備え、常日頃から対応を考える必要があると思いました。



☆ 君もサバイバルマスターになろう 《シェルター編》 ☆

138タワーパークでは、防災チャレンジ「サバイバルマスターになろう」と題し7月22日（土）、【シェルター編】（災害時の住まいの確保）が開催されました。

参加した親子は、慣れないテント張りに、場所の確認から始まり、日当たり、風向き、テントの張り具合など、取扱説明書を参考に知恵を出し、協力しながら挑戦していました。

小学校5年生のある参加者は、「夏休みの課題として防災対策をあげ、その一環として参加しました」とのことで、チームワークよくシェルターの作成に取り組んでいました。



午後からはロープの結び方などを学び、いろんな結び方を体験し、日頃の生活の中でも活用ができることを知りました。

この企画には、葉栗連区地域づくり協議会も協賛しています。ぜひ一度、参加してみませんか？

今後の開催は、10月1日（日）【SOS編】、11月23日（祝）【フード編】各10：00～16：00を予定しています。

【要予約：138タワーパーク事務所 ☎51-7105】

